

原料費調整制度に基づく都市ガス料金単価の調整について (2010年1月 検針分)

2009年8月～2009年10月のLNG及びLPGの貿易統計値が発表されました。
原料費調整制度に基づき、基準単位料金を調整させていただきます。

2010年1月 検針分の従量料金単価は、2009年12月 検針分に比べ、1m³(46.1MJ)当り
1.6632円(消費税込)の値上がりとなります。

●従量料金単価

(消費税込)

	単位	(A) 2009年12月	(B) 2010年1月	(B)-(A)
A料金表 (0m ³ ～24m ³)	円/m ³	212.7952	214.4584	1.6632
B料金表 (24m ³ を超える)	円/m ³	155.4442	157.1074	1.6632

従量料金単価 = 基準単位料金 + 調整額

●平均原料価格

	単位	2009年7月 ～ 2009年9月	2009年8月 ～ 2009年10月	基準平均原料価格
LNG平均価格 (貿易統計値)	円/トン	38,490	40,260	
LPG平均価格 (貿易統計値)	円/トン	48,120	50,690	
平均原料価格	円/トン	39,210	41,030	48,740

平均原料価格 = LNG平均価格 × 0.9471 + LPG平均価格 × 0.0573

(10円未満端数四捨五入)

※平均原料価格が77,980円以上となった場合は77,980円

$$\begin{aligned}
 \text{原料価格変動額} &= \text{基準平均原料価格} - \text{平均原料価格} \\
 &= 48,740 - 41,030 = 7,700 \text{ 円/トン} \\
 &\quad \text{(100円未満端数切捨て)}
 \end{aligned}$$

●調整額の算定について

$$\text{調整額} = -0.088 \times \text{原料価格変動額} / 100 \text{円} \times (1 + \text{消費税率})$$

$$\begin{aligned}
 &= -0.088 \times (7,700) / 100 \text{円} \times (1 + 0.05) = -7.1148 \text{ 円/m}^3 \\
 &\quad \text{(小数点第5位以下端数切捨て)}
 \end{aligned}$$

●標準家庭のご使用例(1ヶ月分)

1ヶ月分使用量(m ³)	(A) 2009年12月	(B) 2010年1月	影響額 (B)-(A)
32	7,070	7,123	53